

[TOP page](#)[資料室](#)[イベント情報](#)[講師を探す](#)[Worker's 広場](#)[関連リンク](#)

資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [一般教養](#) | [語り部スキル](#) | [会話術の焦点 \(4\)](#)
[労働組合](#)[労働者福祉・共済](#)[一般教養](#)[社会保障](#)[労使トラブル法律相談Q&A](#)[労働関係法](#)[経営全般](#)[人間関係とコミュニケーション](#)[ライフプラン](#)[男女共同参画](#)[公務員関係法](#)[日朝の歴史](#)[7つの習慣](#)[中東の歴史](#)[ボランティア活動](#)[環境活動](#)[社会貢献活動](#)[自己啓発](#)[生涯学習](#)[外交・防衛問題](#)[資本論](#)[教育カリキュラム](#)[日本国憲法](#)

会話術の焦点 (4)

第3章 記憶する

記憶は本能的な営みであり、自分の五感と自分自身を形づくるすべてを積極的に使うことだ。

覚えなければならないことをしっかりと「見て」「感じる」ようにいつも努力する。

スピーチでは、精神、感情、そして全身を使うことが、丸暗記して話すよりも100倍効果がある。

「7つの記憶法」

- 1 声に出して読む
- 2 描く
- 3 聞く
- 4 歌う
- 5 即興
- 6 地図を描く
- 7 順序立てる

「忘れてしまったらどうするか」

- 1 聴き手を使う
話を止め、聴き手に次に何が起こると思うか尋ねる
- 2 即興を使う
話している部分から、自分が飛ばしてしまった部分につなげるように試してみる
- 3 正直に言う
謝ってはいけぬ。話しているうちに思い出したら次のように言う。
「この大事な情報を伝えるのを忘れていました…」

「忘れないための工夫」

- 1 小道具を使う
物語の流れに沿って小道具を用意しておく
- 2 型をつくる
単語のくり返しは覚えやすい。繰り返す単語と合わせてジェスチャーも繰り返すと、記憶の重要な引き金になる
- 3 プレゼンの図解

(つづく)

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

[>> 一覧へ戻る](#)

[傾聴](#)

[語り部スキル](#)

[🔍 キーワード検索はこちら](#)

[🗺️ サイトマップ](#) [📄 このサイトについて](#) [🔒 個人情報保護の取組みについて](#)

[🏠 ページTOPへ](#)

[TOP page](#)

[資料室](#)

[イベント情報](#)

[講師を探す](#)

[Worker's広場](#)

[関連リンク](#)

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.